

6年 半原学習（ふるさと学習）

令和3年11月17日(水) 1・2・3時間目

◇半原地区の5名の方に半原文楽館や人形収蔵庫を案内していただき、半原人形浄瑠璃について学びました。

人形収蔵庫には、多くの人形や教本が大切に保管されています。半原文楽館は、人形浄瑠璃を上演する舞台があり、船底やぶどう棚など観客を楽しませる仕掛けが工夫されています。

人形浄瑠璃は、唄をうたう「太夫」、「三味線」、人形を操る「人形づかい（主づかい・左づかい・足づかい）」が協働して公演が行われます。25名の地域の方が集まって練習し、このすばらしい伝統芸能を受け継いでみえることがよく分かりました。



【体験をしての感想】

◇半原地区の方みんなで、人形や衣装を守り、口伝えて唄や三味線、人形の動きを受け継いでみえることがわかりました。これからもずっと半原文楽が続くといいと思いました。

◇半原文楽を観て、人形が本当の人のように動くことに驚きました。公演があったら、また見に行きたいです。